

今を織りあげることから
未来がはじまる

2024年8月2日(金)
13時~16時

喜多方市押切体育館
(二階視聴覚室)

リッヂモンド国際映画祭
ドキュメンタリー部門
佳作受賞

インドネシア
国際スピリチュアル映画祭
ドキュメンタリー部門
佳作受賞

ダラムサラ映画祭
ドキュメンタリー部門
正式出品作品

つ・む・ぐ

おり びと
織人は風の道をゆく



さとう うさぶろう

船戸 崇史

Yae

ナレーション: SHIORI シナリオ &撮影: 吉岡 敏朗 編集: Apple of Eyes

音楽: 木村 俊介 Yae 山本公成 えま & 慧奏 弓削田 健介 中野 智香子 福井 幹

越田 太郎丸 渡辺亮 稲葉 美和 瀬戸 龍介 音楽 & 録音: 宮川 昭夫

書: 山下 真有美 プレスデザイン: 石倉 仁一郎

協力: Usaato Siam うさとジャパン 船戸クリニック 鶴川自然王国

監督: 吉岡 敏朗

日本 | 2013 | デジタル | カラー | ステレオ | 3:4 | 98分



なにが彼らをそうさせたのか？ そして、どこへ行こうとしているのか？

常識にとらわれない生き方に未来をつむぐカギが隠されている



Story

ストーリー



織る Weaving

タイ東北部イサン地方の小さな村で昔ながらの田植えがはじまる。食べるものを自分たちの手で育て、着る物を物が織り上げ、家をみんなで建てる。そんな素朴な暮らしが何代も続いてきた村も電柱が立ち始めた頃から変わり始める。服をつくる文化もこの村から途絶えようとしていた時、伝統文化の復興を支援するボランティアグループが活動を開始する。そんな時、ブリュッセルでオートクチュールを手がけていた一人の日本人がこの地を訪れる。服飾デザイナーさとう うさぶろう。

彼がこの村にやってきたのは、ある声に導かれてだった。やがて彼はタイに移り住み、仲間たちとともに、“いのちの息吹にあふれた”服づくりを始める・・・。



生きる Living

優秀な外科医として病院でガンなどの患者を診て来た医師 船戸崇史。しかし、なんど切り除いても再発する患者の多いことから、自分のメスではガンに勝てないとさとり、せめて在宅で最後を見取るお手伝いができたなら、病院を去り、西洋医学のみではなく東洋医学や補完代替医療等を取り入れたクリニックを開業する。

イサンで染められた“いのちのやどる”服の愛用者でもある彼は、毎年末期ガンを患う人たちを連れ気功ツアーに出かける。第10回目の行き先は石垣島。参加者たちはそれぞれの思いを胸に南の島へと向かう・・・。



大地 Earth

農業を営みながら歌手を続けるYae。彼女は、母 加藤登紀子の影響もあり、若くして大手レコード会社と契約するが、歌うことを通して社会に貢献したいという理由からレコード会社との契約をやめ、独自のライブ活動をはじめめる。彼女の父は学生運動指導者で後に有機農法実践家になった藤本敏夫。その父が残した農園「鴨川自然王国」には毎年、援農に多くの人が訪れる。ここで彼女は将来夫となる男性と出会う。そして、そのウェディングドレスは、タイで織られた“いのちを感じる”服だった。

彼女は語る。「私たちは、土、水、空気、太陽のめぐみで生かされているんです・・・。」



始 Beginning

うさぶろう、船戸医師、Yae が一堂に会する機会が訪れる。“いのちの息吹にあふれた”服のファッションショーが船戸クリニックで開催されることが決まり、準備のためにボランティアたちの奔走がはじまる。モデルは医師や看護婦、患者、そしてガンで大切な人を亡くした家族。

やがて、ショーの当日がやってくる・・・。

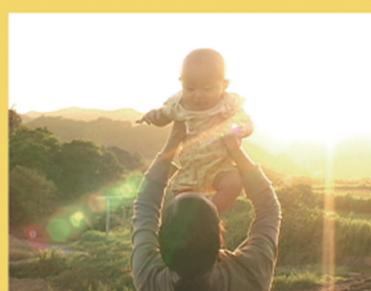


7年におよぶ撮影期間

撮影は 2006 年、自然の染めと手織りが行われているイサンの村からはじまる。

海外ではタイの他、中国の桂林、ラオスのルアンプラバーン、日本では北海道南富良野町、岐阜県養老町、千葉県鴨川市、石垣島、屋久島など、全国にわたる。

映画の長さ 98 分は、膨大な撮影映像の中から選び出された珠玉のシーンで織り上げられたものである。



出 演



さとう うさぶろう
服飾デザイナー



船戸 崇史
医師



Yae
歌手



監督 シナリオ 曲影
吉岡 敏朗
カルロビバリ映画祭 (CILECT) 優秀賞
ツール映画祭 シネクラブ賞
日本産業映画コンクール 特別賞
日本企業映像フェスティ 入選

2024年8月2日(金) 13時~16時 料金：1,000円
喜多方市押切体育館(二階視聴覚室)

◎お子様連れも安心！託児サービスあり！(要予約)

<問い合わせ先> 090-5322-2038(高橋)

上映後開催
Yaeトークミニライブ

半農半歌手。故藤本敏夫・歌手加藤登紀子の次女。
2001年に歌手デビュー。家族5人とともに自然豊かな里山
「鴨川自然王国」で、農を取り入れた農の暮らしを営む。
環境省「つなげよう・支えよう 森里川海プロジェクト」
アンバサダー。www.yaenet.com

